

社会福祉学科社会福祉専攻 ディプロマポリシーと学習到達度評価表

【質問No】	【評価の数値】→	5 とても期待以上	4 やや期待以上	3 期待どおり	2 やや不足	1 とても不足
↓	1. 人を理解するための幅広い教養と福祉に関する専門的な知識を持ち、福祉の専門職として人を支援するための基本的技術を有している。	専門科目の講義・演習科目 GPA3.5以上	専門科目の講義・演習科目 GPA3.0以上	専門科目の講義・演習科目 GPA2.5以上	専門科目の講義・演習科目 GPA2.0以上	専門科目の講義・演習科目 GPA2.0未満
1	1-1. 社会福祉に関する基礎的な知識、技術について理解している。	社会福祉に関する基礎的な知識・技術を的確に用いて実践できる	社会福祉に関する基礎的な知識・技術を理解しており、自分の言葉で説明できる	社会福祉に関する基礎的な知識・技術について理解している	社会福祉に関する基礎的な知識・技術の理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	社会福祉に関する基礎的な知識・技術の理解が不十分で、述べる事ができない
2	1-2. ソーシャルワークの理解や心理、アート、健康、スポーツ等の知識を身につけている。	各専門領域の基礎的知識を用いて的確に実践できる	各専門領域の基礎的知識を有しており、自分の言葉で説明できる	各専門領域の基礎的知識を有している	各専門領域の基礎的知識の理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	各専門領域の基礎的知識の理解が不十分で、述べる事ができない
3	1-3. 対人援助に必要な知識・技術について理解している。	対人援助に必要な知識・技術を的確に用いて実践できる	対人援助に必要な知識・技術について、自分の言葉で説明できる	対人援助に必要な知識・技術を述べる事ができる	対人援助に必要な知識・技術についてやや理解不十分だが、支援を得て述べる事ができる	対人援助に必要な知識・技術について理解不十分で、述べる事ができない
4	1-4. 利用者の立場にたって物事を判断し、理解していく力を身につけている。	利用者の立場にたって物事を判断し、理解していくための方法を自ら考え実践できる	利用者の立場にたって物事を判断し、理解していく姿勢を身につけており、かつそのための方法を説明できる	利用者の立場にたって物事を判断し、理解していく姿勢を身につけている	利用者の立場にたって物事を判断し、理解していくための方法について、支援を得て述べる事ができる	利用者の立場にたって物事を判断し、理解していくための方法について、述べる事ができない
5	1-5. 論理的な根拠をもって援助を計画的に実践していく力を身につけている。	自ら計画し実践している援助について論理的な根拠を説明することができる	自ら援助を計画し実践していくことができる	支援を得て、援助を計画し実践することができる	支援を得て、援助を計画することができる	援助を計画することができない
	2. 福祉の専門職として人権を尊重する高い倫理観を有し、専門的な知識を活用しながら、保健・医療・福祉・教育の関連職種と連携して、主体的に問題を解決する能力を有している。	総合科目及び専門演習科目及び実習科目 GPA3.5以上	総合科目及び専門演習科目及び実習科目 GPA3.0以上	総合科目及び専門演習科目及び実習科目 GPA2.5以上	総合科目及び専門演習科目及び実習科目 GPA2.0以上	総合科目及び専門演習科目及び実習科目 GPA2.0未満
6	2-1. 人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。	人間の行動や心理について、科学的根拠に基づいて説明できる	人間の行動や心理について客観的に説明できる	人間の行動や心理について多面的に理解する態度を有している	人間の行動や心理について、支援を得て述べる事ができる	人間の行動や心理について、説明することができない
7	2-2. 問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決するための方法を自ら考え説明することができる	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決することができる	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題の解決に向けて取り組むことができる	支援を得て、問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができない
8	2-3. 価値観や倫理観と向き合いながら自らを律し、利用者を理解していくことができる。	価値観や倫理観について自ら思考し、利用者理解において実践する方法を説明できる	価値観や倫理観と向き合いながら自らを律しつつ、利用者を理解していくことができる	価値観や倫理観と向き合いながら自らを律する方法について述べる事ができる	価値観や倫理観について述べる事ができる	価値観や倫理観について述べる事ができない
9	2-4. 他者と協調・協同して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	課題解決のために、他者に方向性を示し、目標の実現のためにグループを形成し、活動することができる	グループにおいて他者と協調・協同しながら、課題解決に向けた方向性を示すことができる	グループにおいて他者と協調・協同して行動することができる	グループにおいて自分の役割を自覚し、活動に積極的に参加できる	グループ活動に積極的に参加できない
10	3. 人や地域社会とあたたかい関わりをもち、円滑な人間関係を築き上げるコミュニケーション能力を有している。	ボランティア等の社会貢献活動に積極的かつ継続的に取り組んでいる	ボランティア等の社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	ボランティア等の社会貢献活動に参加している	ボランティア等の社会貢献活動に支援を得て参加している	ボランティア等の社会貢献活動にほとんど参加していない
11	3-1. 利用者にあつた方法でコミュニケーションを実践できる力を身につけている。	利用者に与える影響を考慮した上でコミュニケーションをとることができる	利用者の特性を理解して、適切なコミュニケーションをとることができる	利用者に合わせたコミュニケーションができる	支援を得て、利用者に合わせたコミュニケーションがとれる	利用者に合わせたコミュニケーションがとれない
12	3-2. 情報を的確に伝える力や解りやすく説明できる能力を身につけている。	情報機器を活用し、解りやすく効果的なプレゼンテーションができる	情報機器を活用したプレゼンテーションができる	専門的なことを解りやすく説明できる	専門的なことを説明できる	専門的なことを説明できない
13	3-3. 感じたことや考察したことを記録したり、記述したりすることができる。	読み手に与える影響を考慮した上で感じたことや考察したことを記述することができる	読み手に解りやすく感じたことや考察したことを記述することができる	感じたことや考察したことを十分かつ正確に記述することができる	感じたことや考察したことを文法に従って記述することができる	感じたことや考察したことをきちんと記録することができない
14	4. 福祉の専門職として、よりよき社会の形成に自ら貢献する生涯学習力と実践力を有している。	自ら課題を見つけ、授業時間外の自己学習に積極的に取り組み、学内外の講演会や研修等に積極的に参加している	授業時間外の自己学習に自発的に取り組み、学内外の講演会や研修等に自主的に参加している	授業時間外の自己学習に取り組み、学内外の講演会や研修等に参加している	事前事後課題に取り組み、学内外の講演会や研修等に支援を得て参加している	自己学習に取り組みず、学内外の講演会や研修等にほとんど参加していない